

「中央卸売市場移転事業 豊洲サイバーエンポリウム」プロジェクト

代表者 越阪部奈緒美【教授】（システム理工学部生命科学科）

構成員 古川修（理工学研究科）／井上雅裕、間野一則（システム理工学部電子情報システム学科）／
長谷川浩志（システム理工学部機械制御システム学科）／山崎敦子（工学部共通科目群）

プロジェクトの概要

2016年11月に卸売市場が江東区豊洲地区移転することが予定されていたが、食の安全性を脅かす様々なデータの開示により、延期が余儀なくされている。移転事業に際し、“食育”を柱とする住民参加型の街づくりを推進することを目的に、今年度は築地市場・東卸組合、豊洲北小学校、豊洲商友会と連携して、幾つかのイベントを企画・立案した。これらの取り組みが豊洲地区住民の食生活に対する意識の改革また行動の変容をもたらすかどうかについて、豊洲北小学校児童およびその父兄に対して調査を実施するとともに、豊洲地区住民に対していくつかの食育イベントを開催した。これらの活動を通じて食育に対する意識を高めることを試みた。

COC活動の成果

